

令和6年3月8日(金)

今が一番若い

もう、次の学年に進級したり、卒業したりする直前の時期になってしまいました。しかし、「もう遅い」などと悩む必要はありません。

悔いたところで、これまでの人生を取り戻すことはできません。それに、この先の人生では誰であっても「今が一番若い」のです。明日になれば、一日分年をとります。

「この学年を無意味に過ごしてしまっただけで、結局何も身につけることができなかった」「やりたいことが見つかったけど、ライバルは既にスタートしている」などと思う人がいるかも知れません。しかし、心配する必要はありません。

やりたいことが見つかったのなら、今日からスタートしてください。明日には一日分成長しています。それを積み重ねていけば、1年後、5年後、10年後には、大きく成長していることでしょう。「今さら何をやっても、もう遅いのでは？」などと思って歩みを止めるのは、実にもったいないことです。

自分ができるところから、少しずつ始めましょう。何もしなければ人生は変わりませんが、ほんの半歩でも踏み出せば、昨日よりも確実に前に進んでいくのですから。